

校訓「敬天愛人」

大門坂

月田小だより
4月号

令和8年4月7日（火）
校長 中井 良徳

月田小学校HPは で検索！

「人・本・旅」で学び、自分の頭で考えることが本物の教養



桜の花が満開の大門坂

新年度がスタートしました。学校の桜も満開で、新しい年のスタートを祝ってくれているようです。

現在、教育界では、「学習指導要領」の改訂が進んでいます。「学習指導要領」とは、全国どの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に1度、改訂しています。

小学校は、令和12年度の全面実施に向けて、令和9年度から周知・移行していく予定です。主な改訂の方向性として「情報活用能力の強化

（読み書き・計算+情報リテラシー）」「個別最適な学び（全員一律からの転換）」「探究的な学び・思考力の育成（暗記から思考へ）」が強調されています。

ここで、なぜこのような改訂の方向性が出されているのか、社会の変化から考えてみます。

ライフネット生命保険創業者の出口治明さんは、「人・本・旅」で学び、自分の頭で考えることが、人生100年時代を豊かにする本物の教養だと言われています。

「教養」はおいしいか、まずいか

出口さんは、「知識」と「考える力」の関係を、料理の「食材」と「料理人」になぞらえて次のように言われています。

「材料がないときは材料がすべて。材料が豊富に入るようになったから、三つ星シェフの社会的地位が上がったのです」

食材が満足に得られなかった時代は、肉があれば煮て食べようが焼いて食べようがおいしく感じました。肉がどこでも手に入るようになると、「〇〇シェフの料理がおいしい」というように、料理人の手腕が問われるようになります。これを教養の話に置き換えると、インターネットで何でも簡単に調べられる時代になれば、物知りが重宝される時代は終わります。つまり、大切なのは知識をたくさん蓄えることではなく、蓄えた知識を総合的に生かせる力、「考える力」です。「知識×考える力」が教養なのです。

（「朝日新聞 Re ライフ net」より）

「人・本・旅」が教養を育む

（長時間労働を前提とした）「メシ・風呂・寝る」の生活から、いろいろな人に会い、たくさん本を読み、面白いところへ行き、そこから学びを得る「人・本・旅」の生活に切り替えることだと思います。旅というのは、観光旅行をなさということではありません。近所で行列ができている評判のケーキ屋さんへ行って、実際に店を見て、ケーキを食べてみて、なぜ評判がいいのかを考える。これも立派な旅です。

「人・本・旅」を実践することで、広い世界へ飛び出して、好きなことをもう一度勉強し直して、大学と社会を行ったり来たりしながら自分にとって楽しい人生にチャレンジする。これこそが人生100年時代の醍醐味です。

（「朝日新聞 Re ライフ net」より）

社会人の教養の話ですが、未来を生きる子どもたちにも当てはまる話です。時代の波に取り残されないように、月田小学校も変えていくところは変えていき時代の先端をいく学校づくり

に挑戦していきます。月田小学校は、教職員だけではなく、地域、保護者、もちろん主役の子どもたちでつくるわくわくする「みんなの学校」です。引き続き、よろしくお願いいたします。



よろしくお願いいたします

令和8年度の教職員です。常勤・短時間勤務の職員が11名、他校と兼務の職員が5名の計16名の教職員です。互いの良さを生かしながらチーム一丸となって月田小学校の教育に貢献してまいります。

令和8年度教職員

校 長	中井 良徳	事務職員	畝本 智美
教 頭	浅野みのり	校 務 員	黒田よし子
1・2年担任	米田ゆかり	教諭業務アシスタント	旦 和恵
3・4年担任	宮崎 奈々	ALT (兼務)	Rachel STEPHENS
5・6年担任	杉 桃歌	図書司書 (兼務)	高杉 佳余
教科指導	西谷 慎治	スクールカウンセラー (兼務)	石井 智久
教科指導	植田 祥子	スクールカウンセラー (兼務)	藤田 由枝
養護教諭	岡本 ルミ	栄養教諭 (兼務)	岩崎 有莉

新しい出会い

新天地に情熱を燃やしながらか赴任された先生。どうぞよろしくお願いいたします。

着任者

職 名	氏 名	前任校等
教 諭	杉 桃歌	新見市立思誠小学校 教諭
教 諭	宮崎 奈々	海外派遣 (マーシャル諸島)
事務職員	畝本 智美	真庭市立余野小学校 事務職員
非常勤講師	西谷 慎治	真庭市立椋邑小学校 教諭

